



録画配信の
2次元コード

酒井 英男

健政会

風水害から命を守る体制強化 (早めの判断で命を守る)

◆適切な避難情報の発令

Q 風水害時の避難情報はどのような考え方で発令しているのか

A 危機管理監 気象予測や河川水位、降雨見込みなどを総合的に判断し、市民が安全に避難するための時間確保を重視している。結果として大きな被害が発生しなかった場合でも、市民の生命を守ることを最優先に判断していく。

◆早めの判断による安全確保

Q 台風6号接近時の小中学校の臨時休校については、早めの判断が行われたものと評価しているが、どのような考え方で判断したのか

A 学校教育部長 気象情報や近隣自治体の対応状況などを踏まえ、児童生徒の安全を最優先に判断した。今後も安全確保を第一に考え、早期の情報収集と適切な判断に努めていく。

◆地域防災力の強化

Q 消防団0Bを中心とした機能別消防団を、今後どのように活用していくのか

A 危機管理監 消防署と消防団の0Bを中心とした新たな機能別団員（災害技術支援）の経験や技術を現役団員へ継承するとともに、令和6年度に発足した機能別団員（災害医療看護）に加え、多様な人材の参加を促進し、消防団員の確保と地域防災力の向上につなげていく。



録画配信の
2次元コード

橋本 亜矢

日本共産党

火災時の市営住宅一時利用／ ひだまり水富教室について

◆火災時の市営住宅一時利用について

Q 火災にあった際、市営住宅を一時利用する場合の要件はあるのか

A 都市建設部長 市内在住であること、災害に遭った証明書があること、他に住宅を確保することが困難であることなどが主な要件。災害時の市営住宅の一時利用に関しては、福祉部と連携して運用しているが手引書に収入要件があるような表現があったため、本年5月に改訂し収入基準がないことを明記した。

◆不登校支援について

Q 学校へ行きづらい児童生徒が通う茶レンジルームひだまり水富教室を開設した経緯は

A 学校教育部長 市内の不登校児童生徒増加をうけ、狭山台教室を利用するには遠い児童生徒を対象として水富地域に新設した。

Q 水富教室を新設したことへの評価は

A 学校教育部長 より多くの児童生徒が利用しやすい環境が整い、不登校児童生徒の支援につながっているものと捉えている。

Q 移転も含めた検討を行っているとのことだがその際、児童生徒・保護者・指導員の意見は反映するのか、また配慮することは

A 学校教育部長 教室を利用する児童生徒や保護者、支援にかかわる指導者の声は、より良い教育環境を整備する上で重要な意見になると捉えている。また、教室の移転によって子どもが不安にならないように今の教室や支援の方法を維持できるよう配慮する。



ひだまり水富教室の看板

その他のテーマ▶若者の居場所づくり